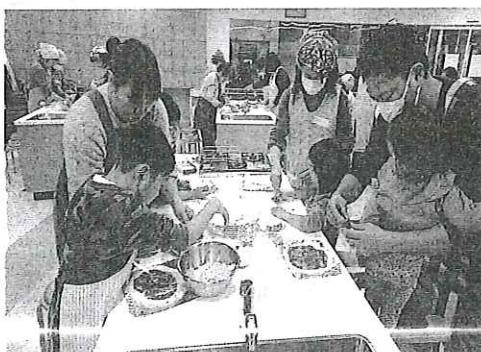


にいがた民商



11月25日（日）いくと
ぴあ食花に於いてピザ作り
講座を開催し、満員御礼大人
40名小人5名が参加しました。

婦人・青年部長のあいさつ

から始まり、実行委員の卯田
さんから講師の深井さんを
紹介して頂きました。

深井さんからは「三越前にお店を出して6年目になる。

ナポリのピザは、フワフワのアメリカのパン生地のイメージとは違う。マルゲリータはお姫様の為に考案された

ピザと言われ、トマトソースの赤・チーズの白・バジルの緑でイタリアの国旗を表している」と解説があり、モニターでわかりやすく生地の伸ばし方を実演して頂きました。

「12時間も手間ひまかけられたピザ生地の柔らかさ・弾力に驚きました」「先生のやり方を見て、できそ
うかなと思いきや、生地を丸く伸ばすのに苦戦し、へんてこりんな形になりました」「家でまたトッピングを変えて作ってみたい」「宅配ピザを頼むのに抵抗があり、自分で作って子供にと思い参加させてもらいました」「初めて会った人達と会話しながらできて楽しかった」「今後のイベントも楽しみにしています」
焼きたてのピザにサラダとスープも付いて、じんけん勝者にはおみやげも。美味しいピザ作り講座でした。



11月25日（日）ANAクラウンプラザホテルで新商連共済会主催の交流会が開催されました。
県内の民商から参加があり約60名の役員、事務局員
が集まりました。新潟民商からは9名が参加しました。

集会報告

中小業者をめぐる情勢として、「社会保障の問題」「国民健康保険の都道府県化」「来年10月の消費税増税」をめぐつて、我々が元気に商売を続けるために、共済活動「集団健診」「大腸がん検診」を活用していきましょう。

制度と組織を改善してきた全商連共済会

共済会の歴史と理念を改めて学習しました。
年表の資料をもとに、会員からの意見を取り込み改定してきた現状を学びました。また近年では「事業継承にともなう措置」（赤枠11月5号裏面）も実施されています。

秋の運動の到達点と当面の運動

よりよい共済会を実現するには、まず会員を増やすことが先決です。秋の運動で拡大目標を達成した4支部が表彰されました。残念ながら新潟民商は含まれず。

「今までと同じことをやっていたのでは会員の減少は止められない」という問題意識・議論からいろいろな切り口で「役員中心・会員主人公」の民商運動への努力を進めましょう。

講演「家族そろつて笑顔で健康」落語家 水都家艶笑師匠
健康に良い事「笑うこと、歩くこと
とだ」と話し、「笑いながら散歩する」のがベストと笑いを誘いました。

本題の落語では「高齢化した暴力団組織」の話で、こちらも大変面白かったです。



新潟民商

新潟民主工商会
新潟市沼垂西3丁目
電話(243)0141
18年 12月 3日

日程

- 12月4日（火）新商連事務局員学習会
- 12月4日（火）新商連常任理事会
- 12月25日（火）消費税各界連宣伝行動



龜田支部共済学習会

二川温泉にて開催

毎年の恒例行事となりつつある共済学習会。11月18日(日)会場はお馴染みの二川温泉で、15名の方に参加して頂きました。

今回は学習内容を濃くしようと民商の班支部活動とは?民商に入っている人にとってどれだけ大切なのか?班支部活動の在り方とはどのようなことを言うのかを黒井副支部長から班支部の手引きを用いて参加者に話をして頂きました。

その後共済学習会について共済担当の松本さんより資料をもとにわかりやすく説明をして頂きました。説明の後質問をしてくださる方もいて皆で分からぬ部分を無くそうと話し合いました。

学習会の後は温泉に入り、懇親会へと移り親睦を深めました。

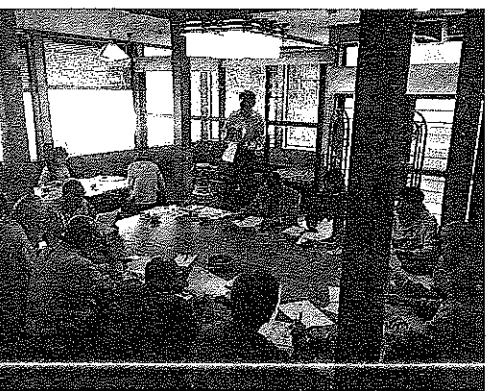
懇親会の後半は恒例のカラオケを支部の皆さんで楽しみ、大いに盛り上りました。

駅前支部共済学習会

11月18日(日)駅前

支部では「安田温泉やすらぎ」を会場に共済会学習会を開催し13名が参加しました。

始めに高橋支部長(介護業)から「民商共済会の制度を学び合いました会員も増やし更により良い共済制度にして行きました



十一月二十日、寺尾・小針・黒崎支部合同で、八月に高知で開催された日本母親大会の報告会が十一名の参加で行われました。大会に参加された渡辺みゆき婦人部副部長からの報告で、「県知事、市長による挨拶もあり、今までには無かった事。」「高知は日本で初めて女性が政治参加した地、女性の活躍が先駆的。」など、女性の参加に触発され、今後の活動に意欲を持ち、大いに周りに広めていきたいと話していました。

また、倉敷民商の禰屋さんとの交流の報告もされ、当時の過酷な状況や現在もなお続いている訴訟の闘いの話を聞き、「どんでもないね。皆で、これからも禰屋さんをバツクアップしていかないとね。」と民商活動の大切さを語っていました。その後も昼食をいただきながら、それの後も昼食をいただきながら、それぞれ近況報告など話は尽しませんでした。

石山支部共済学習会

石山支部では一一月一八日に月岡温泉の泉慶で毎年恒例の共済学習会兼日帰り温泉旅行を開催し、二〇名が参加しました。

冒頭に伊藤支部長を中心に「班・支部活動の手引き」を読み合わせ、後半は市橋副理事長から「どんな時に共済請求できるの?」を使つた説明がありました。参加者からは「昨年、入院して満額給付された。とてもありがたかったが、リセツトされる日がわかりづらい」などの意見が出しました。

その後はみんなで月岡のお湯を堪能し、泉慶自慢の料理とカラオケをつまみに懇親が進みました。



また今年の大腸がん検診や集団検診の取組みも紹介されました。学習会の後は懇親会を行い民商の共済会員どうしがたくさんに交流を深めました。「来年も是非開催して欲しい」との声が多く聞かれました。